

令和5年度 第1回さいたま市民大学運営委員会 議事録

1 開催日時

令和5年7月18日（火） 午後2時から午後3時45分まで

2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

3 出席者

〈委員：9名〉

- ① 神保 富美子 委員長
- ② 山中 冴子 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 浅野 永子 委員
- ⑤ 加藤 恒 委員
- ⑥ 桑原 静 委員
- ⑦ 関根 公一 委員
- ⑧ 中川 敬三 委員
- ⑨ 亘理 史子 委員

〈事務局：8名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 岸 聖一
- ② 参事兼副館長 中村 和哉
- ③ 主幹兼事業・企画係長 野口 みずほ
- ④ 事業・企画係主査 三井 響子
- ⑤ 事業・企画係主査 曾根 啓佑
- ⑥ 事業・企画係主事 小暮 裕貴
- ⑦ 社会教育指導員 渡邊 京子
- ⑧ 社会教育指導員 永井 紀美子

4 欠席者名

〈委員：3名〉

- ① 井上 直也 委員
- ② 羽諸 英臣 委員
- ③ 平田 利雄 委員

5 報告事項

- (1) 令和4年度さいたま市民大学実施結果について
- (2) 令和5年度さいたま市民大学実施状況について

6 協議事項

- (1) 令和6年度さいたま市民大学各コース（案）について

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

0名

9 開会

冒頭、委員全員に委嘱状の交付を行った。

その後、委員長・副委員長の選出を行い、委員の互選により、委員長は神保富美子委員、副委員長は山中冴子委員が就任した。

10 報告内容

- (1) 令和4年度さいたま市民大学実施結果について、事務局から資料1を基に説明。

以下、質疑等の内容

桑原委員	まちづくりコースの満足度が他と比べて低いのはどうしてか。
事務局	講師による講義を期待していた受講生が多くいた中、グループワーク形式による意見交換を中心とした進行となったことが、受講者の期待とずれてしまったものと考えている。

- (2) 令和5年度さいたま市民大学実施状況について、事務局から資料2を基に説明。

※令和5年6月までに開催された各講座の様子を5分程度の動画にて視聴。

以下、質疑等の内容

加藤委員	ファイナンシャルコース（入門編）を見ると、定員を超える申込みがあり抽選を行ったのに、実際の受講者は定員の7割弱と少ない。受講決定の際、キャンセルを見越して当選者を多く出した方がよい。
事務局	当日欠席者を見込み、抽選時に定員より若干多く当選者を出す取組は行ったが、それを上回る当日欠席者がいた。なお、この講座に関しては、当日欠席者に対しても講義内容がわかるよう、一か月程度の動画配信を行った。

神保委員長	動画の視聴回数を受講実績に数えることはあるのか。
事務局	視聴者が欠席者なのか、受講者なのか、重複して視聴しているのか等を確認することができないため、受講実績は当日リアルタイムで受講をした人数だけとしている。
関根委員	ファイナンシャルコース（入門編）は無料講座だったので、とりあえず申込みだけして受講しなかった人が多かったのではないかと。受講料無料で、参加のハードルを下げることと参加の意識を上げることの両方を実現するのは難しい。講座を企画する際に考えるポイントである。 また、基礎的・一般論的な内容だと、満足度がそれほど高くないように感じる。
神保委員長	ファイナンシャルコース（応用編）は対面講座だったので、これら2つの講座の数字を比べてみると参考になりそうだ。
山中副委員長	ファイナンシャルコース（入門編）の定員が100人なのは、何か理由があるのか。
事務局	当センターのZoomアカウントでは、最大接続数が100件となっているため。

11 協議内容

(1) 令和6年度さいたま市民大学各コース（案）について説明。

以下、質疑等の内容

神保委員長	来年度の案だが、各コースの枠は決定なのか。
事務局	あくまで現時点での案であり、委員会の議論に合わせて調整する。
関根委員	教養Ⅱコースで、著名人に講師を依頼する場合、受講料を高め設定し講師への謝金も多く支払う、ということはあるのか。
事務局	受講料については、1コマ500円という基準がある。また、講師への謝金も公民館の謝金基準に則って決定するため、自由に設定することはできない。
神保委員長	講師への謝金は、民間企業等で依頼する場合は高額であっても、行政の事業で公益性や意義があるものについては、講師によりやや低額で引き受けてくれる場合もある。また、著名な講師であれば忙しく日程調整も必要なので、そのバランスの中で検討する必要がある。

中川委員	<p>ハイフレックスでやりたいとの事務局案だが、対面で行った講座についても後日動画を配信することなどは考えているか。</p> <p>また、ハイフレックスの場合、オンライン受講者にも質問ができる機会があるのか。</p> <p>そして、どのような講座なら対面開催で、どのような講座ならオンライン開催と、事務局での判断基準はあるのか。</p>
神保委員長	<p>受講料受け取り方法などの事務的問題から、全講座をオンライン形式にするのは難しいのではないかと。</p>
事務局	<p>今年度も一部の講座では受講生に対して講義動画の限定配信を行っており、講座を欠席しても配信動画で学ぶことができるようにしている。</p> <p>現在、受講料の支払いは現金のみとなっているため、すべてをオンライン講座にすることはできない。対面で開催する講座で受講料を確保する必要がある。</p> <p>ファイナンシャルコースや教養Ⅱコースのように人気のある講座については対面形式で受講料を確保し、人気に関わらず広く知ってもらいたいテーマについてはオンラインを併用することを検討している。</p>
中川委員	<p>講座の企画に際し、講座内容を決めた上で、対面実施とオンライン実施のどちらが適切か判断すべき。対面の価値は、質問できたり会話ができたりすることであり、受講生はそのコミュニケーションを求めていると考える。会場に来たい、質問したいという受講生への対応が必要。オンラインは一方向的になりがちで、質問などの講師とのやり取りが難しいため、質問ができるよう対応をしてほしい。</p> <p>講座の他に、講師に許可を得て、講座の動画を一般の人に見てもらえば、市民大学の認知度を上げるのに役立つと思う。</p>
神保委員長	<p>どのような講座なら対面、どのような講座ならオンラインや配信など、各講座内容により受講形式を決めるのは大切。複数回の講座なら、1回目は会場、2回目はオンラインといったやり方もあるのではないかと。</p>
浅野委員	<p>受講者が子どもの場合、対面で開催した方がよい。オンラインの場合、集中力がもたず、途中で飽きてしまう。</p> <p>また大人でも、難しい内容や会場の空気感が必要なものは会場で、細かい作業や講師の手元などが詳細に見えた方がよいものはオンラインで、といった棲み分けができるとよい。</p> <p>対面とオンラインを同時に行うと、オンライン受講者は疎外感を感じる場合があるのではないかと。オンラインなら全員オンライン、ハイフレックスであるなら、オンライン受講者に対応する専任者を準備するなどの対応が必要なのではないかと。</p>

山中副委員長	今回、事前に依頼のあった講座企画案シートを作成してきたが、これは令和6年度企画にどう反映されるのか。講座を会場で実施するのか、オンラインにするのか、ハイフレックスにするのかは、講座の内容が決まってから手段が決まると考えるが、事務局案が基本方針であるなら各委員の案はどの程度反映されるのか。
事務局	未定コースはもちろん、教養Ⅰ・Ⅱコースやビジネススキルコースの内容に反映していきたい。本会議でのご意見や、講座企画案シートの内容を踏まえたうえで、講座や講座形式についても検討し、次回案を作成する。 事務局としては、現在までの講座で応募人数が少なかったものに関し、対面とオンライン両方の受講方法を提案できれば参加しやすい環境が整えられるのではないかと、という視点で今回の案を作成したので、委員の皆様のご意見をぜひいただきたい。
亙理委員	オンラインや動画を利用する場合、著作権に注意する必要がある。講座資料や受講者の顔、講師の様子などが、受講者にスクリーンショット等で撮影されることもありうるので、事前に調整しておいた方がよい。
神保委員長	各委員のご意見のとおり、講座内容が決定し対象者が決まってから講座形式を決めていくべきであり、またオンライン配信では著作権に注意を払いながら企画を進める必要がある。
青木委員	さいたま市の大きな特色である鉄道について学ぶコースは、今後も継続していくべき。さいたま市は鉄道のまちであり、他の自治体ではできない講座である。鉄道博物館が講座の継続に前向きであること、例年人気が高いこと、30代以下の受講者の応募が見込めること、親子で参加できる企画であることなどからも考えて、ぜひ継続を検討してほしい。
浅野委員	SDGs、リサイクルやプラスチック問題に関するテーマは社会的にも重要で近年話題となっているが、昨年度・今年度とさいたま市民大学の講座には取り上げられていない。例えば、鉄道とリサイクルといったように人気の講座にプラスアルファして企画することも可能なのではないかと。
事務局	現在、さいたま市の各公民館においてSDGsに関する取組を実施しているので、そこも踏まえたうえで、委員会の中で総合的に企画案を検討していきたいと考えている。

12 その他

令和5年度運営委員会等のスケジュールについて、事務局から資料4を基に説明。
各委員が講座企画案シートを提出。

13 閉会